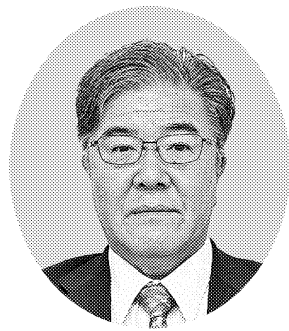


◇2026年 年頭所感

「命を守る、社会を守る、
経済を守る」ために

佐賀県土木・コンサルタント協会会長

詫間 政弘



新年あけましておめでとう
ございます。平素より、佐賀
に暮らす皆さまの安心・安全
な生活環境を支える私たちの
取組みに深いご理解とご支援
を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちは、災害に強く、安
心して暮らせる地域づくりを
進めるとともに、佐賀の活力
を高めるべく測量、調査、設
計、補償等の業務に日々取り
組んでおります。近年は大雨
や地震の頻発により、不安を
抱く場面が増えています。こ
うした中、国の国土強靱化中
期計画の考え方に基づき、「命
を守る、社会を守る、経済を
守る」の観点から、災害に強
く、日常も便利で快適な佐賀
の実現を目指してまいります。

とりわけ、水害、地震、土
砂災害への備えを一層強化し
ます。国土強靱化中期計画が
掲げる「事前の備えの強化」
を踏まえ、流域全体での河川
拡幅や遊水地の活用、街中の
内水氾濫対策を組み合わせ、
被害の最小化を図る「流域治
水」の推進に注力してまいり
ます。

また、道路では災害時の避
難・救急・物流の大動脈とな
る「佐賀唐津道路」、「有明
海沿岸道路」の早期整備が進
んでいます。長崎方面や有明

海沿岸の主要道路とのネット
ワークを強化し、地域の暮らし
と経済を下支えする重要な
道路です。これらの道路に加
え、一般道でも三次元設計や
ドローン測量などの新技術を
効率的に活用した生産性向上
と品質確保に取り組んでいま
す。さらに、身近な公共イン
フラを長く安全に使い続け、
地域の安心・安全を確保する
ため、壊れる前に手当てを行
う予防保全の推進にも取り組
んでまいります。

人づくりと地域力の強化に
も努めます。若い世代や女性
が働きやすい職場づくり、地
元企業との連携強化、地域材
の活用、持続可能な地域づく
りを進め、「地域の守り手」
として、佐賀県のインフラ整
備を確実に前へ進めるため、
安心で便利、そして災害に強
い佐賀の未来を、皆さまとこ
もに形にしていきたいと思います。

結びに、本年が皆さまにと
りまして幸多き一年となりま
すことを心より祈念申し上げ、
新年のご挨拶といたします。

技術革新を積極的に取り入れ
業界の持続的な発展を目指す

佐賀県空調衛生工業会会長 土井 敏行



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。
昨年を振り返ってみます
と、10月に日本女性初の首相

が誕生しました。これまで日
本の政治家で女性議員は徐々
に増えてきたものの、相変わ
らず男性中心の社会でした。
今回、新しいリーダー高市内
閣の発足に国民の変化への期
待は大きいと感じます。

また、4月から10月まで大
阪・関西万博が開催されまし
た。開幕前は準備の進捗や万
博に対する否定的な声も聞か
れたということでしたが、一
般入場者数が2500万人を

超え成功裏に閉幕し、会場を
訪れた方々にとっても心に残
る万博になったことと思いま
す。

7月から8月にかけて、九
州地方は大雨による警報があ
りました。佐賀県は人的被害
も最小限であり大規模災害に
至らず、幸いな一年でした。
また、最低賃金が全国すべて
時給1000円を超え、佐賀
県においては1030円に引
き上げられました。賃金水準
が上がることで人材確保の定
着に繋がることに期待してい
たいです。

佐賀県立大学(仮称)の令
和11年の開学に向け、昨年11
月に基本設計の概要版が発表
されました。「街のようにキ

ャンパスを作る」というコン
セプトのもと、建物の外観イ
メージパースや平面プランが
示され、既に実施設計の段階
に入っています。少子化時代
の大学建設への不安の声もあ
りますが、佐賀県は人口に対
して子どもの割合は全国2位
でありながら4年制大学が二
つしかなく、毎年3000人
以上の子どもたちが県外の大
学へ入学している現状が全国
のトレンドと大きく異なるこ
とから、一日も早い開学が望
まれています。

さて、建設業界は未だに慢
性的な人手不足と若年層の技
術者不足が続いている状況で
す。我々団体が毎年行ってい
る国交省との意見交換会にお

いて、今年も様々な意見が出
され、業界の要望や状況を伝
えることができました。特に
空調衛生設備の専門学科、専
門校の設置・教育支援は国の
みならず、佐賀県に対しても
同要望をいたしました。高等
学校で空調衛生設備の専門技
術を学べる機会を増やしてい
ただけたらと思っております。

所属団体が一堂に揃う全国
会議では、空調衛生工事業を
取り巻く状況や人手不足の厳
しさが増していること、特に
現場で働く技能者不足は深刻
であり、処遇改善を図りつつ、
外国人材の活用とともに施工
現場の省力化を進める必要が
あるとの認識を共有しまし

た。さらに、地震や風水害な
ど自然災害が頻発する中で、
社会インフラの安全性を支え
る設備業の使命はこれまで以
上に重要性を増しておりま
す。空調衛生設備は人々の健
康と快適性を支え、経済活動
を下支えする社会の基盤で
す。その重要性は今後ますます
高まっていくと見ます。技術革
新を積極的に取り入れ業界の
持続的な発展を実現していく
所存です。

最後に、今後も関係者各位
のご指導をお願い申し上げま
すとともに、今年1年が明る
い年でありますよう皆様をま
しますのご健勝とご多幸をこ
祈念申し上げ、新年のご挨拶
といたします。

